



こんにちは、まちかど図書館ぼたんです！

まだ寒い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。空気が乾燥し、体調を崩しやすい時期ですので、どうぞお身体に気をつけてお過ごしください。

今月のニュースレターでは、2月に開催いたしましたイベントの様子を中心に、図書館での最近の活動をお届けします。

## Topic 01 第15回イベント、開催しました！

2026年2月27日（金）に、第15回イベントを開催しました。今回は、長野県立大学GM学部4年生・築山ゼミナールの山本嗣起さんによる卒業論文報告が行われました。

報告では、「一箱本棚オーナー制度図書館におけるソーシャル・キャピタル形成の比較研究—長野市と新潟市のみんとしよの事例分析を通して—」をテーマに、長野市と新潟市のみんとしよを事例として、それぞれの図書館におけるソーシャル・キャピタル形成について比較・分析した研究内容が紹介されました。

当日は、本棚オーナーの山下さん、岩山さんをはじめ、「ゆる〜いおっさんの会」藤澤さんをはじめ、まちづくり長野の宮島さん、そしてこの日新たにオーナーになられた内山さんも参加してくださいました。研究の内容をきっかけに、それぞれの体験や思いを交えた意見交換も行われ、終始和やかな雰囲気となりました。

研究発表を通して、まちかど図書館ぼたんのような場が、人と人とのつながりを生み出す場所になっていることを改めて感じる機会となりました。

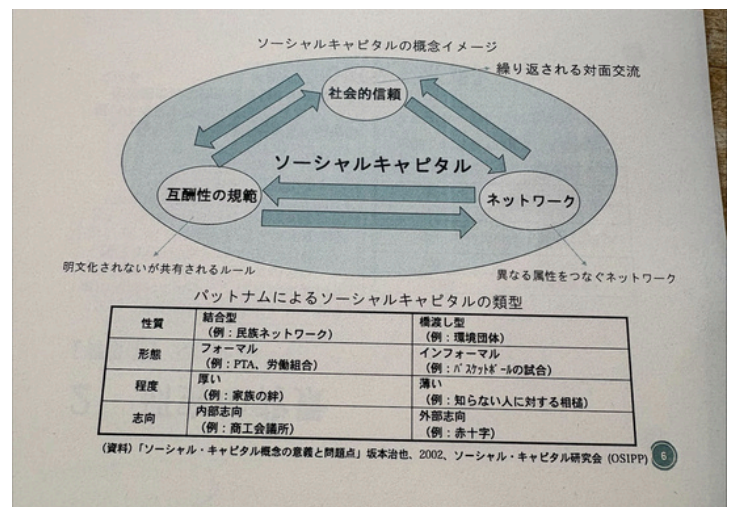
### 【発表内容紹介】

長野市と新潟市のみんとしよを事例に、人と人とのつながりがどのように生まれるのか、その構造に関する研究結果が報告されました。

### 【地域で注目される「ソーシャル・キャピタル」】

近年、日本では人口減少や少子高齢化が進み、地域の担い手不足や住民同士の関係の希薄化が課題となっています。こうした中で注目されているのが、人と人との信頼関係や助け合いの関係、ネットワークなどを意味する「ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）」という考え方です。

これが形成されることで、地域の中で協力や情報共有が生まれ、安心して関われる環境づくりにつながるとされています。



### 【「みんとしよ」とは？】

一箱本棚オーナー制度図書館、通称「みんとしよ」は、個人が一箱分の本棚のオーナーとなり、自分の好きな本を並べたりメッセージを添えたりすることで、訪れた人とゆるやかな交流が生まれる私設図書館です。2020年に静岡県焼津市で「みんなの図書館さんかく」が開館したことをきっかけに全国に広がり、現在では100館以上が37都道府県に展開しています。本館も同様です。

発表では、こうしたみんなとしょの取り組みが、本をきっかけとした日常的な会話やイベントなどを通して人と人とのつながりを生み出し、地域の関係づくりに役立っている可能性が示されました。

### 【2つの図書館を比較】

研究では

- ・長野市 まちかど図書館ぼたん
- ・新潟市 みんなの小さな図書館とハコBase

の2館を対象に比較分析が行われました。

現地調査や参加観察、記録資料の分析、インタビューなどを通して、それぞれの図書館でどのような人のつながりが生まれているのかについて、比較分析されました。



### 【まちかど図書館ぼたんの特徴】

ぼたんでは行政関係者や専門職、文化活動を行う人、近隣住民など、多様な立場の人々が関わっていることが特徴として見られるそうです。

本や地域という共通の関心をきっかけに、肩書きや立場を超えた交流が生まれており、図書館という落ち着いた空間の中で安心して対話できる環境がつけられています。

また、座談会やイベントを通して、初対面同

士の出会いと継続的な関係づくりの両方が生まれていることも紹介されました。

ニュースレターなどを通じて、図書館を直接利用していない地域の方々にも活動が伝えられ、ゆるやかなつながりが広がっていることが示されました。

### 【ハコBaseの特徴】

一方、新潟市の「みんなの小さな図書館ひとハコBase」では、本棚オーナーとして地域住民だけでなく県外在住者や小学生など幅広い人が参加していることが特徴としています。

オーナー会議や読書会、当番などを通してオーナー同士の顔が見える関係が日常的に生まれ、交流が継続しているとのこと。

また、チャレンジショップが併設されていることで、本を目的としない来館者も空間に関わり、新たなつながりが生まれています。図書館で出会った人同士が協力し、新しい活動へ発展する場合もあるようです。



## 【研究からとらえられたこと】

今回の研究では、両方の図書館において、異なる立場の人々をゆるやかにつなぐ「橋渡し型」のソーシャル・キャピタルが形成されていることが確認されたそうです。

一方で、より密接なつながりを生む「結合型」のソーシャル・キャピタルについては、図書館ごとに違いが見られました。

## 【まとめ】

「みんとしょ」という仕組み自体が、多様な人々をゆるやかにつなぐ橋渡し型の関係づくりに有効である可能性が示されました。

また、新潟市の事例からは、運営の継続や活動の積み重ね、オーナー同士の関係構築が進むにつれて、橋渡し型の関係を基盤としながら、共通の関心を持つ人同士のより強い結びつき（結合型）が段階的に形成されていく可能性も示唆されたそうです。

今回の発表を通して、まちかど図書館ぼたんの活動が、人と人とのつながりを生み出す場としてどのような役割を持っているのかを改めて考える機会となりました。



## 【オーナー様や参加者の皆様からの質問・感想】

今回の座談会では、みんとしょの意義や今後の可能性について、さまざまな意見が交わされました。

まず、本研究のきっかけについては、みんとしょ運営に関わっていたことに加え、築山先生がソーシャルキャピタル（人と人とのつながり）を研究されていたことから、この2つを結びつけて研究を始めたとのことでした。

本研究の背景にある人口減少について、書店の減少が進む中で、みんとしょが逆に増えている点（個性ある書店も増加しています）に着目した感想も挙がりました。一方で、「人口減少＝豊かさの低下ではない」という意見もあり、人口減少を別の視点から考える時間でもありました。

また、他地域の事例として、茅野市の「まちライブラリー」が紹介されました。駅ビル内にあり、本ごとに貸出・販売・閲覧を選べる点が特徴的です。こうした事例を踏まえ、駅構内での展開の可能性についても話題となりMIDORI長野での実施は？といったアイデアも挙がりました。

運営面では、空きテナントが増える一方で、みんとしょは増加している現状を踏まえ、維持や経営に関する課題も議論されました。まちかど図書館ぼたんでは、理事長裁量経費をもとに本棚を設置しており、本棚オーナーが50人に達すれば安定運営が見込まれるとの考えが示されました。さらに、喫茶スペース（カフェ機能）の導入や2階の活用など、オーナー増加に向けた工夫の必要性も挙げられました。参加者からは、みんとしょは空き家活用として有効であることや、他の図書館にはない本との出会いが魅力であるという声がありました。また、こうした座談会そのものが楽しい、という声もいただき、まちかど図書館ぼたんならではの月1回のイベントの開催やニュースレターの発行はオーナー様や利用者様などへお届けするために今後も続けていきたいと改めて思いました。

「みんとしょのような取り組みに税金を使うこと」についても議論がありました。

まず、「価値のある取り組みであれば賛成」という意見がありました。自分が利用したいと思える場所に投資され、良い場が生まれるのであれば前向きに捉えられるという声です。

一方で、「助成金はあくまでスタートの後押しであり、その後は自立が求められる」という現実的な視点も共有されました。そのうえで、行政には資金面だけでなく、運営が軌道に乗るまで

人的支援やノウハウの面でも関わってほしいという意見が挙がりました。さらに、「お金を出して終わりになってしまうことへの課題」も指摘されました。本来の目的は、人と人とのつながり（ソーシャルキャピタル）を育てることにありますが、行政の取り組みは「事業をつくる・予算をつける」こと自体が目的化してしまう場合もあるのではないかと、という問題意識です。こうした意見から、みんとしょのような取り組みを地域づくりにつなげていくためには、資金支援だけでなく、継続的な関わりや支援のあり方が重要であることが共有されました。

今後に向けたアイデアとしては、学生料金の導入や、オーナーによる「お店番」の仕組みづくりが提案されました。「今日は〇〇さんがいるから行ってみよう」と来館のきっかけになったり、新たなオーナーの増加や交流の活性化にもつながることが期待されます。学生にとっても、オーナーとの関わりを深める機会になります。

「この研究でやりたいことはできましたか？」という問いに対しては、卒論をきっかけに他のみんとしょを調べ、実際に現地へ足を運び、館長の方にお話を伺う機会を得られたことが大きな成果として挙げられました。また、ゼミ活動を通してまちかど図書館ぼたんに関わる中で、次第に愛着が深まっていったとのこと。当初は研究対象として関わっていた場所が、自分にとって大切な場所へと変化していった様子が印象的でした。さらに、この取り組みを後輩へ引き継ぎ、長く続く図書館にしていきたいという想いも語られました。

今回の座談会を通して、みんとしょは本を媒介に人のつながりを生み出す場として、地域づくりにおいて重要な役割を持つ可能性があることが改めて感じられました。

## Topic 02 4月のイベントについて

第17回イベントを開催いたします。今回はオーナー様である山下さんより二度目のお話をいただきます。皆様のご参加をお待ちしています！

日時：4月11日(土) 13:00~15:00

場所：まちかど図書館ぼたん

スピーカー：防災士 山下勝也さん

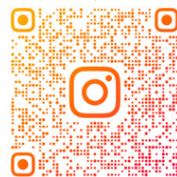
テーマ：新生活と防災 ー今やるべきことー

## Topic 03 開館時間について

ホームページ



Instagram



開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL:<https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/>

## Topic 04 アクセス



〒380-0826  
長野市南長野北石堂町1185-6  
JR長野駅から徒歩7分、  
※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際はお近くのコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。



2026年3月25日発行  
編集：長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール  
住所：〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室  
Tel：026-217-2241（代表） fax：026-235-0026  
E-mail：tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp  
主催：長野市中心市街地活性化協議会（事務局：まちづくり長野）